

豊橋市美術博物館コレクション展

ゆったり

美術館散歩

心遠くへ遊ばせる、ひとときの旅に参りましょう

令和2年

6月2日(火)～7月12日(日)

開館時間／午前9時～午後5時(入場4時半まで) 月曜日休館

観覧料／一般・大学生 四〇〇(三〇〇)円 小・中・高生 二〇〇(二〇〇)円

○は二〇人以上の団体料金

●「身体障害者手帳」「療育手帳」「精神障害者保健福祉手帳」

「ほの国」にも「パスポート」いずれかをお持ちの方は無料

●豊橋市在住の七〇歳以上の方は割引料金(二〇〇円)





▲廣本季與丸《綠陰・世田谷農婦》1949年

木かげで
ひと休み

日常のささやかな幸福、なつかしい風景、旅先での出会いなど、画家たちが描くイメージの中に私たちはみずからの記憶を重ね、想いを馳せます。

このたびのコレクション展は、そうした私たちの共感を呼び起こす近現代絵画を中心に、ゆったりとした空間の中で作品から作品へとそぞろ歩くような展示構成をめざしました。やすらぎの場である日常を起点に、日本の風景をめぐり、世界各地へ、あるいは作家の構築した独自の境地へと視点を広げていくことで、気ままな散歩から見知らぬ地への旅にいざなわれるような感覚をおぼえることでしょう。

また、特別展示室では個人の移動そのものが困難であった前近代の旅をめぐる状況を古文獻や古地図、浮世絵を通じてご紹介いたします。様々な自粛を余儀なくされている現在、美術と歴史を楽しむひとときの旅にお出かけください。



▲我妻碧宇《山ゆたかに》1943年

ステキな部屋に
おじゃまします

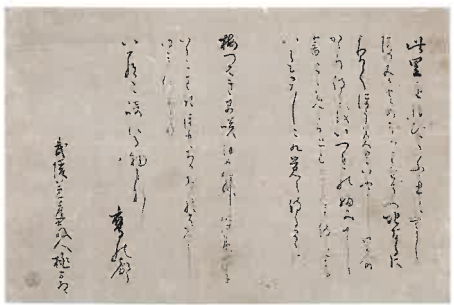


▲三岸節子《室内》1943年

令和2年度前期に予定していた企画展「芳年 激動の時代を生きた鬼才浮世絵師」[第8回トリエンナーレ豊橋 星野真吾賞展]は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止いたしました。また、コレクション展「山水に遊ぶ」も会場等の都合により本展に内容変更しましたので、ご了承ください。本展も今後の状況によって会期等を変更する場合があります。その際はホームページに掲載いたしますので、ご来場時にご確認くださいようお願い申し上げます。<http://www.toyohashi-bihaku.jp/>
なお、このたびのコレクション展は通常よりも作品の間隔を広くして展示を行います。ご来館の際はマスク等のご着用とともに、近い距離での会話等はお控えくださいますよう、ご理解とご協力をお願い申し上げます。



▲坂口紀良《コートダジュールのテラス》1997年



▲松尾芭蕉《梅つばき・いらご崎》句文懐紙 1687年

芭蕉さん
どこで
よんだのかな？



南仏の風に
吹かれて

動物と出えるかも

▲三沢厚彦《Animal 2015-05》2015年 ©Misawa Atsuhiko, Nishimura Gallery Tokyo 2019



▲司馬江漢《地球図》1794～95年頃刊

まだ見ぬ
世界を夢みて

